

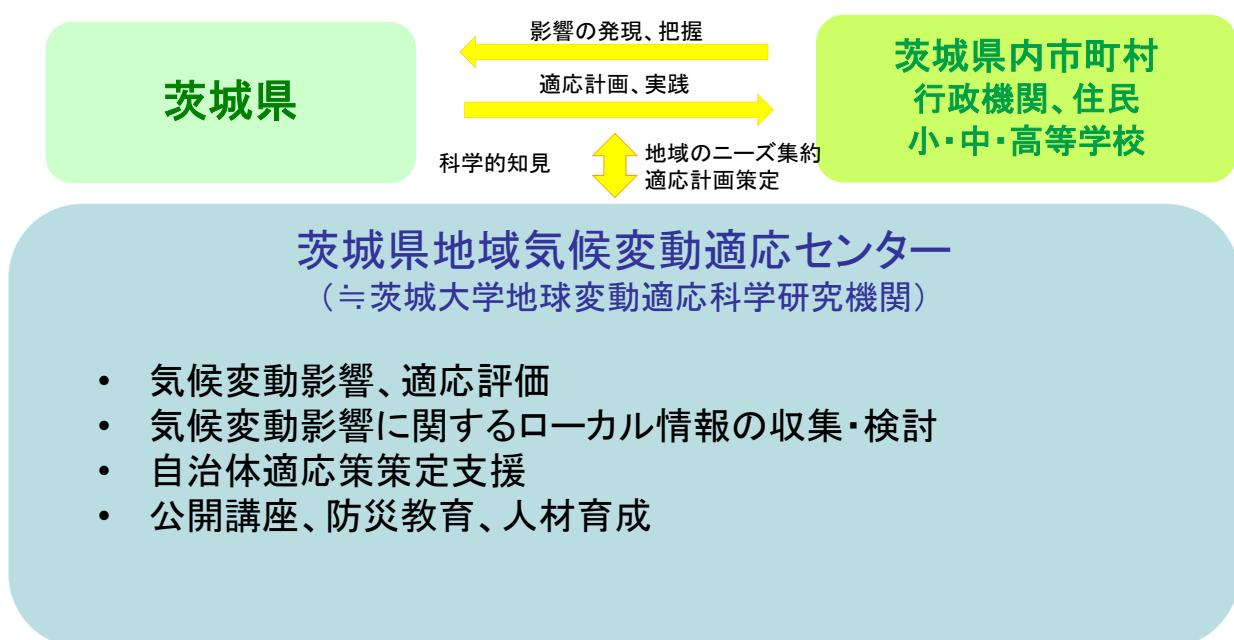
国民参加による気候変動情報収集・分析 地方公共団体委託事業報告



茨城県地域気候変動適応センター

茨城大学
田村 誠

茨城県地域気候変動適応センターの体制



気候変動に関する科学的
知見の収集、提供

共同研究、情報提供

国立環境研究所
気候変動適応センター

大学、研究機関

茨城県地域気候変動適応センターの事業

気候変動影響、適応評価

茨城県下の気候変動、温暖化予測を行い、それらによる水環境・農業・漁業・防災等へのリスクや影響、対策を検討する。

気候変動影響に関するローカル情報の収集・検討

茨城県下で農業や漁業等に関わる人たちが気候変動・温暖化をどう捉えているか、実際に起こっている現象について把握するとともに、既に実践されている適応策を収集し、応用可能性について検討する。

自治体適応策策定支援

影響評価で得られた結果を自治体に提示し、影響評価の精度検証、追加データの収集、優先順位などを協議して、各自治体の事情に応じた適応策策定を支援する。

公開講座、防災教育、人材育成

市民向けの公開講座、防災教育ワークショップなどを行うとともに、「適応」に関する知識を備えて普及啓発に関われる地域人材の育成・ネットワーク化を図る。



3

国民参加による気候変動情報収集・分析事業

- 大学教育と連動した調査、学生の関与
- 漁業関係者
 - 大洗町等でのインタビュー調査
- 農業従事者
 - 大学院サステナ教育「国内実践教育演習」と連動
 - 常総市農家インタビュー・アンケート
 - アンケート調査: 11月配布予定が台風19号豪雨水害により延期。
 - 12/25〆切で、常総市全農家4,836件へ配布。約1,600件回収(集計中)
- 茨城町、つくば市等での圃場モニタリング
- 県内小中学校約700件へのアンケート(1月末配布)
- シンポジウム、ワークショップ
 - 6/28 設立記念シンポジウムでのアンケート
 - 10/9 豪雨災害対策ワークショップ
 - 12/11 「令和元年度台風19号災害調査団」報告書、報告会
 - 3/10 茨城県地域気候変動適応センターシンポジウム



4

イベント、アウトリーチ

4 地球温暖化がもたらす「+2℃の世界」～緩和と適応、私たちには何ができるのか～					
曜日	金曜日	時間	14:00 ~ 16:00	回数	5回
				受講料	¥3,000
日本では、地球温暖化に伴う農作物被害や気象災害などを軽減するため、その対策を後押しする『気候変動適応法』が2018年12月に施行されています。これからもじわりと進むであろう温暖化は、私たちの社会や文化にまでも影響を及ぼしてくることが予想されます。本講座では、最先端の科学的知見に基づき多角的に考え、理解を深めます。					講師
環境・健康コース	茨城大学 教授 伊藤 哲司	◎豪華・色見農業技術総合研究機構 ◎茨城大学 満喜院 田村 誠	◎茨城県立農業研究所 ◎茨城大学 满喜院 若月 泰季	◎茨城大学 教授 滝澤 貴弘	◎茨城県立農業研究所 ◎茨城大学 教授 亀山 康子
※ 本講座は毎日新聞と茨城大学 i-CAS のコラボで実施するものです。	<p>① 6/14 気候変動影響と適応策・緩和策</p> <p>② 6/28 気象学から見た温暖化のメカニズムと豪雨災害</p> <p>③ 7/12 茨城県のお米の収量と品質への影響と適応</p> <p>④ 7/26 気候変動に関する国際交渉の歩み</p> <p>⑤ 8/ 9 温暖化は私たちの社会に何をもたらすのか</p>				
TiCAS	英語名：Global Change Adaptation Seminar Institute for Climate Change Adaptation Seminar				

今後の展望

- ・気候変動適応が研究から実践へ
 - ・気候変動適応の認知度向上
 - ・大学と県、市町村の連携体制の強化
 - －大学と県、市町村の一部はかつてより連携協定があるが、一層の拡充
 - －県庁内の横断。県庁連絡会議(2019.5)等
 - －市町村の適応計画策定相談
 - －冊子「茨城県における気候変動影響と適応策：水稻への影響」を作成中

次葉県地図
iLCCAC

茨城大学の社会的役割(=社会の公器)、PR